

ヒ-272

研究機関：広島大学

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】

研究課題名	間質性肺炎合併患者における一塩基多型の意義について
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
研究期間	承認日～ 2023年 3月 31日
対象者	2009年12月から2021年4月の間にヒ38「被爆者がんの分子発がん機構研究のための生体試料保存」の研究に同意いただき、試料を提供された患者。
意義・目的	間質性肺炎患者では特定の一塩基多型の頻度が正常人より高いとされており、病態への関与が疑われています。 本研究では間質性肺炎合併肺疾患患者と間質性肺炎合併でない肺疾患患者の双方からサンプルを供し、間質性肺疾患の自然史や急性増悪・他疾患合併のリスクについて一塩基多型との関連を明らかにします。
方法	本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。手術の際に摘出された肺組織の一部と、診療録（カルテ）情報（性別、血液検査、画像検査所見等）を用いて行います。 試料・情報等は名前などがわからないようにした上で、広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科研究室（研究責任者 岡田守人）で間質性肺炎と関連する遺伝子の解析を行います。
共同研究機関	該当なし
試料・情報の管理責任者	原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
個人情報の保護について	本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 職名 准教授 氏名 宮田義浩 Tel : 082-257-5869 E-mail: ymiyata@hiroshima-u.ac.jp